様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

与板地区

平成24年3月

新潟県長岡市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	与板地区		面積	740ha
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	865	国費率	0.402	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	自転車歩行者（優先）道路整備、まちなか散策路整備（3ルート）、緑地広場整備、まちなか駐車場整備、観光施設案内サイン整備、耐震性貯水槽整備、デザイン照明等施設整備
	提案事業	まちなか散策マップ作成、楽山苑景観整備

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	①河川緑地再整備 ②災害広場整備 ③まちづくり拠点施設整備	①関連事業への移行により削除。 ②避難広場として適当でないため、自転車歩行者（優先）道路を活用し指定避難地への誘導を代替措置とし、削除。 ③提案事業への移行により削除。	①関連事業により整備するため影響なし ②代替措置により事業目的に変更はないため影響なし ③代替措置により事業目的に変更はないため影響なし
	提案事業	①まちなか防災マップ作成 ②まちづくり拠点施設活用検討	①関連事業への移行により削除。 ②提案事業への移行により削除。	①代替措置により、事業内容に変更がないため影響なし ②代替措置により、事業内容に変更がないため影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	①防火水槽整備	①調整池による災害時の給水を行っていたが、防火活動を迅速かつ安定的に行なえるように、防火水槽に切り替える必要から、追加。	①調整池の代替措置による防火水槽整備であり、既設の目標2に合致するため、目標、指標、数値目標への影響はなし
	提案事業	①与板城跡景観整備 ②本与板城跡景観整備 ③まちづくり協議会運営事業 ④まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業 ⑤まちづくり活動拠点整備実験事業	①NHK大河ドラマ放映による直江兼続関連施設の整備の必要から、追加。 ②NHK大河ドラマ放映による直江兼続関連施設の整備の必要から、追加。 ③住民主体の環境整備や活用、管理に関わる協議会の必要から、追加。 ④新たなまちづくり方策の検討の必要から、追加。 ⑤空店舗の活用によるまちづくり活動拠点施設のあり方や住民との連携策の検討の必要から、追加。	①NHK大河ドラマ放映に伴う来訪者増加に対応するため目標4を追加。 ②NHK大河ドラマ放映に伴う来訪者増加に対応するため目標4を追加。 ③影響なし ④影響なし ⑤代替措置として事業内容に変更がないため影響なし

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成19年度～平成23年度	－
	変　更	－	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	まちなか通行者数	人/12h	1,163	H18	1,350	H23	－	1,606	○	あり / なし	目標値を上回ったことから、自転車歩行者（優先）道路など各種事業を一体的に進めたことによる回遊性の向上に効果があった。	平成24年10月
指標2	防災訓練参加者数	人/年	200	H18	400	H23	409	518	○	あり / なし	防災施設の整備と並行して、防災訓練を継続的に行うことで、ハード・ソフト両面において災害に強いまちづくりを進めることができた。	－
指標3	中心商店街営業店舗数	件	78	H18	78	H23	－	74	△	あり / なし ●	店主の高齢化や後継者不足等の外的要因による閉店があり、目標達成には至らなかったが、各種事業による回遊性やまちの魅力を創出でき、商店街への来訪者の増加が図れ、近年の店舗減少傾向が緩和された。	平成24年5月
指標4	主要施設の来訪者数	人/年	7,620	H18	9,900	H23	115,704	13,140	○	あり / なし	NHK大河ドラマ「天地人」の放映にあわせ関連史跡などの整備や、兼続・お船ミュージアムを開設したことで、来訪者数が飛躍的に伸び、その後の来訪者数の定着に繋がった。	平成25年4月

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	自主防災会団体数	件	0	H18			27	36			防災施設の整備や地震により防災意識が高まった結果、自主防災会団体数が増えた。	－
その他の数値指標2	年末年始セールの1店舗当り売上の前年度比	%	-3.0	H17			-1.7	+0.9			事業前の売上は減少が続いていたが、事業開始後は減少傾向が止まり、微増傾向にある。	平成25年3月

4）定性的な効果発現状況

・自転車歩行者（優先）道路は散策やジョギング・ウォーキングなど、健康増進・まちなか散策ネットワークの向上に効果があった。 / ・自転車歩行者（優先）道路は地区外の方からもジョギングの場やまち全体における評価が高まっており、回遊性や知名度の向上に効果があった。 / ・自転車歩行者（優先）道路整備や楽山苑景観整備等によりまちの駅よいたの利用者が増加し、もてなしの場の創出に効果があった。 / ・天地人行列やイルミネーション、観光まつりなどのイベントが新たに実施され、来訪者の増加に効果があった。 / ・自転車歩行者（優先）道路の沿道住民による花壇管理やベンチの設置など、来訪者に対するもてなし意識の向上に効果があった。 / ・橋の整備によりホタル鑑賞のビューポイントが増え、来訪者の増加に効果があった。 / ・事業開始からの5ヵ年で、商店街の新規店舗が3件みられ、商店街の活性化に効果があった。

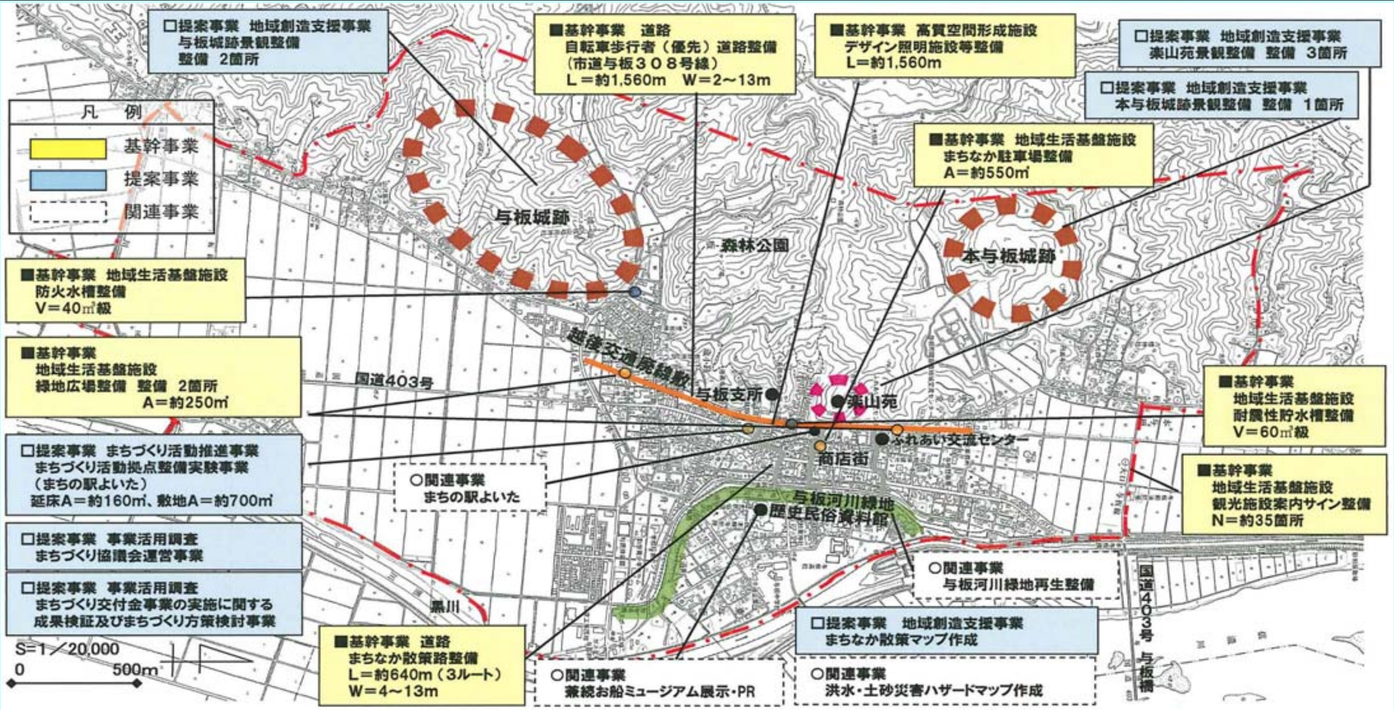
5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	・防災訓練参加者数の計測 ・主要施設の来訪者数の計測	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・防災施設等を利用した防災訓練の継続的な実施を図る。 ・直江兼続関連の施設の更なる充実と今後のPRの継続を進める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	・住民参加ワークショップによる計画検討など ・広報による計画の経過報告及び意見聴取	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・ワークショップで検討した住民主体の活用や管理を継続的に進める。 ・広報による情報発信や意見収集を継続し、まちづくりへの住民の声を反映させる。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	・まちづくり協議会の組織化 ・市民と協働による管理体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・市民団体などが主体となった自転車歩行者（優先）道路等を活用したイベント運営や管理を継続する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

与板地区(新潟県長岡市)　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
まちなか資源活用による地域住民が楽しく安心して暮らすことができる中心市街地の再生 ①鉄道廃線敷を活かして地域住民等の健康増進を目指したまちなか散策ネットワークづくり ②地域防災に役立つ基盤整備による災害に強いまちづくり ③地域資源などの活用による魅力と賑わいのある商店街としての活性化 ④NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源や地域住民の地域力を活かした来訪者へのもてなし	まちなか通行者数	単位：人／12h	1,163	H18	1,350	H23	1,606	H23
	防災訓練参加者数	単位：人／年	200	H18	400	H23	518	H23
	中心商店街営業店舗数	単位：件	78	H18	78	H23	74	H23
	主要施設の来訪者数	単位：人／年	7,620	H18	9,900	H23	13,140	H23



まちの課題の変化	事業前の課題として、①越後交通廃線敷の有効利用、②災害に強いまちなかの基盤整備、③商店街の活性化、④地域力で来訪者へのもてなし等の課題が挙げられていたが、このうち①・②・④については、各種事業により課題が改善された。③商店街の活性化については、イベントなどにより、まちなかへの来訪者は増加しているが、各店舗の入店者数、売上の増加に繋がっていく仕組みをつくることが課題として残された。また、事業によってより広域的なサイン整備の必要性という新たな課題が挙げられたほか、今後は長岡北スマートICの整備に伴うアクセス性の向上などから、よりいっそうの来訪者に対するもてなしを充実していくことが望まれる。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	(まちづくりの方策) ・自転車歩行者(優先)道路などの利活用を促進するため、各種施設を活かしたイベントの実施や健康増進マップの作成などに努める。 ・防災施設を活かした防災訓練を継続し、緊急時に町内で助け合えるコミュニティの維持と地域住民への防災意識の普及啓発に努める。 ・住民との協働による管理体制を継続させ、地域全体で来訪者をもてなすまちづくりを進める。 (改善策) ・地域資源などと商店街の連携をより強めるため、商店街通りを活用したイベントの実施や、散策マップへの各店舗の情報掲載などを行い、商店街の活性化に努める。 ・広域からの来訪者に対応するため、与板地区外のサイン配置計画および整備を進める。 (その他) ・修景を行った楽山苑の楽山亭では、茶会の開催やボランティアガイドによる建物の説明などを行っており、今後も、このような地域資源の利活用を促進していく。 ・与板の工芸品である打刃物のブランド化・普及PRを目的とし、越後与板打刃物匠会が結成され、のれんやフラッグなどをまちなかに設置して打刃物のまちを発信する取り組みを行っている。今後は、このような団体とも連携し、地域資源と体験観光による観光産業などとの連携性を高めたPRや集客に努める。 ・現在、長岡北スマートICが計画されており、これが整備されることで、市外から与板地区へのアクセスが向上されることから、大河ドラマの放映により幅広く認知されるようになった歴史的資源、まちの駅よいたや与板河川緑地などの地域資源、ライトアップや打刃物体験などの観光イベント等、これらを連携した活用や新たな仕掛けにより、今後も安定した来訪者数を確保するよう努める。 ・市内での11地域の交流促進に取組む。 ・与板地区は、山辺に城と武家街を有し、武家街から黒川にかけて町人街が形成され、黒川の船運により栄えた町であった。本事業の自転車歩行者(優先)道路やまちなか散策路によって、一時期、鉄道により分断されていた町を、再度結びつけることができ、今後はより有機的な結びつきを強めていく必要がある。 ・まちづくりにおいて重要な人づくりにも努める。

都市再生整備計画（第8回変更）

与板地区
（よいたちく）

新潟県　長岡市
（にいがたけん　ながおかし）

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	与板地区	面積	740 ha

計画期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度

目標

まちなか資源活用による地域住民が楽しく安心して暮らすことができる中心市街地の再生

①鉄道廃線敷を活かして地域住民等の健康増進を目指したまちなか散策ネットワークづくり
②地域防災に役立つ基盤整備による災害に強いまちづくり
③地域資源などの活用による魅力と賑わいのある商店街としての活性化
④ＮＨＫ大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源や地域住民の地域力を活かした来訪者へのもてなし

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○当該地区は、平成18年１月１日に旧与板町、旧和島村、旧寺泊町、旧栃尾市、旧長岡市との合併によって誕生した**新長岡市の北部**、**旧与板町の中心市街地**に位置している。
○国道403号に沿って**帯状に長く商店街が形成**され、古くから**旧三島郡の中心地**、**伝統工芸品「越後与板打刃物」の産地**として栄えてきた地区であり、地区内及びその周辺には城跡をはじめ、240年余りの歴史を誇る「登り屋台」など**歴史的な資源が多数残されている**とともに、市街地周辺部には「うまみち森林公園」「与板河川緑地」など、**身近な自然と親しむことのできる場所が整備**されている。
○**市街地内を南北に走る越後交通寺泊線**は大正４年10月に開業後、昭和35年10月に栃尾電鉄と合併し越後交通となり運営されていたが、モータリゼーションの進展等により、**昭和50年４月に運転を停止**している。その後、20年もの長期にわたり各所にレールを残したまま将来の復旧に備えていたが、再開の目途がたたず、**平成７年３月に正式廃止**に至っている。現在、中心市街地を通過する廃線敷は部分的に契約駐車場として利用されている場所もあるが、大半が手つかずのままであり、**市街地振興における貴重な種地**としての位置づけはあるものの、具体的な活用・整備計画に至らない状況にあった。
○しかしながら、平成16年度より、市町村合併を見据えた廃線敷有効活用の気運が盛り上がり、３回のワークショップ開催など**住民参加型のまちづくり**を進めていく中で、跡地利用の方向性を見出している。
○市街地内には幅員が狭隘な道路に面する**密集住宅地が存在**し、**防災や救急活動に支障**をきたしているほか、子どもや老人が憩える**身近な公園や広場が少なく**、**周辺部の比較的規模の大きな公園緑地などとの連携が不十分**な状況にある。
○また、国道403号沿いに形成されている中心商店街は、近年**空き店舗が目立って**きており、店舗の老朽化、担い手の不足と相俟って、**賑わいと魅力が低下**している。
○**平成２１年放送予定のNHK大河ドラマが、与板城主の戦国武将「直江兼続」を主人公にして放送されることが決定した**ため、これを契機に、ゆかりの歴史資源や観光案内、地域住民によるもてなしを充実することにより、まちづくりの目標を達成する起爆剤となることが期待される。

課題

○越後交通廃線敷の有効利用
住民意向調査において、廃線敷の有効活用を望む声が８割強を占めており、また、市街地内には、身近な公園や広場が少なく、子どもや高齢者の憩いの場が不足していることから、越後交通廃線敷を有効利用して、憩いの場やレクリエーションの場など地域住民が利用できる空間整備が必要である。また、回遊性を高めるために、商店街や河川緑地公園からのネットワークづくりが必要である。
○災害に強いまちなかの基盤整備
当該区域内には、住宅が密集し、なおかつ狭隘な道路が多いため、火災、震災、水害などに対する防災性の向上が必要である。また、寺社仏閣などの史跡が点在しているが、個々の史跡の魅力を向上させるとともに、これらを活かした回遊ルート整備などが必要である。
○商店街の活性化
国道403号沿いの商店街には、空き店舗が多く、老朽化も進んでいるため、賑わいと魅力が低下しており、人の集まる場所の整備や観光資源の案内、ソフト施策の充実など、創意・工夫による賑わい創出が必要である。
○地域力で来訪者へのもてなし
NHK大河ドラマが、与板城主の戦国武将「直江兼続」を主人公にして放送されることが決定したため、これを契機に全国から観光や視察のために来られる来訪者の期待にそうよう、ゆかりの歴史資源や観光案内、地域住民の心づかいを充実することにより、地域上げてのもてなしが必要である。これにより地域住民が元気になり、地域もいきいきする地域力の高まりが必要である。

将来ビジョン（中長期）

【長岡地域新市将来構想】
本構想では、与板地域の整備方針として、“特有の地域資源を活用した独創と起業を進める地域の形成”“地域づくりのよりどころとなる｢歴史と田園が織りなすふるさと｣の形成”“積極的な交流で、常に育ちつづける地域と人づくり”“豊富な歴史文化や人柄が創る、まごころのもてなし発信地域”が掲げられている。
【長岡地域新市建設計画】
本計画では、与板地域に関するリーディングプロジェクトの中で、景観街並み形成保全促進事業として“歴史･文化の街歩きルートの形成と、地域による演出･手入れ･もてなしの仕組みをつくる（与板地域で先行的に取り組む）”と掲げられている。
【旧与板町総合計画・後期基本計画】
本計画では、道路網の整備の中で、“越後交通鉄道廃線敷を活用した広域自転車道の整備を促進する”と掲げられている。
【旧与板町都市計画マスタープラン】
本計画では、補助幹線道路整備方針の中で、自転車道の整備として、“安全性、快適性に配慮して、舗装や照明灯などを整備する”“観光客に対応するため、町並みや自然を紹介する案内板等を充実させ、また、かつての駅跡を利用して休息の場を整備する”と掲げられている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちなか通行者数	人／12h	中心商店街を通行する平日12時間の歩行者及び自転車数	まちなか散策ネットワークづくりによって、歩行者及び自転車によるまちなか回遊機会を増大させる。	1,163	H18	1,350	H23
防災訓練参加者数	人／年	与板地域における防災訓練の年間参加者数	災害に強いまちづくり基盤整備と住民意識向上活動により、地域防災訓練への参加者数を増加させる。	200	H18	400	H23
中心商店街営業店舗数	件	中心商店街（国道403号沿いのアーケード区間）における営業店舗数	まちなかの商店街を活性化し、営業店舗数の減少をくいとめる。	78	H18	78	H23
主要施設の来訪者数	人／年	楽山苑と歴史民俗資料館の利用者及び入場者数	NHK大河ドラマ｢直江兼続｣ゆかりの歴史資源を活用し地域住民でもてなす心づかいで来訪者を増加させる。	7,620	H18	9,900	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針１　健康増進などにつながる遊歩道等の整備　～廃線敷の活用～	→ 自転車歩行者(優先)道路整備(基幹事業:道路)
○地域住民等の健康増進を図るために、鉄道廃線敷を有効活用して地域特性を活かした自転車歩行者(優先)道路を整備する。	→ デザイン照明施設等整備(基幹事業:高質空間形成施設) → まちづくり協議会運営事業(提案事業:事業活用調査) → まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業:事業活用調査)
○自転車歩行者道路利用者の休息スペースや地域住民の憩いの空間の形成を図るために、鉄道駅跡地を有効活用した緑地広場(コミュニティガーデン)を整備する。	→ 緑地広場整備(基幹事業:地域生活基盤施設)
○鉄道廃線敷を活用した自転車歩行者(優先)道路と中心商店街、与板河川緑地との回遊性を高める散策路の道路改良を行う。	→ まちなか散策路整備(基幹事業:道路)
整備方針２　災害に強い道路空間の形成と地域防災に寄与する基盤の整備	
○災害時における円滑な防火活動が行えるように、耐震性貯水槽や防火水槽を整備する。	→ 耐震性貯水槽整備(基幹事業:地域生活基盤施設) → 防火水槽整備(基幹事業:地域生活基盤施設)
○災害時における円滑な避難や救助活動が行えるように、緊急車両の通行も可能な廃線敷道路を整備する。	→ 自転車歩行者(優先)道路整備(基幹事業:道路)
○地域住民の防災に対する意識向上に向けて防災マップを作成し、配布する。	→ 洪水・土砂災害ハザードマップ作成(関連事業)
整備方針３　地域資源を活用した中心市街地の活性化	→ まちなか駐車場整備(基幹事業:地域生活基盤施設)
○与板地域を訪れる観光客や商店街等を利用する地域住民が、ゆっくりと散策や買物を楽しめるように、駐車場を整備する。	
○中心商店街の賑わいを再生するために、既存建造物(空き店舗)を活用して魅力のあるまちづくり拠点・交流施設への再生を行う。	→ まちづくり活動拠点整備実験事業(提案事業:まちづくり活動推進事業) → まちの駅よいた(関連事業) → まちづくり協議会運営事業(提案事業:事業活用調査) → まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業:事業活用調査)
○中心市街地の活力向上に向けて、まちなかの回遊(鉄道廃線敷、中心商店街、与板河川緑地の連携)を促す散策マップの作成や案内サインなどの整備を行う。	→ 観光施設案内サイン整備(基幹事業:地域生活基盤施設) → まちなか散策マップ作成(提案事業:地域創造支援事業) → まちなか散策路整備(基幹事業:道路)
○与板地域の重要な歴史資源、貴重な財産として、楽山苑や城跡等の活用を図る。	→ 楽山苑景観整備(提案事業:地域創造支援事業) → 与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業) → 本与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業)
○与板地域の憩いの空間として、地域内外からの多くの人々で賑わう与板河川緑地のさらなる魅力向上に向けて再生を行う。	→ 与板河川緑地再生整備(関連事業)
整備方針４　ＮＨＫ大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源を活用し地域住民の心づかいで来訪者へのもてなし	
○既存建造物(空き店舗)を活用して、来訪者をもてなす魅力のあるまちづくり拠点・交流施設への再生を行う。	→ まちづくり活動拠点整備実験事業(提案事業:まちづくり活動推進事業) → まちづくり協議会運営事業(提案事業:事業活用調査) → まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業:事業活用調査)
○歴史資源とまちなかの回遊(城跡、歴史民俗資料館、寺社、鉄道廃線敷、中心商店街、与板河川緑地の連携)を促す散策マップの作成や案内サインなどの整備を行う。	→ 観光施設案内サイン整備(基幹事業:地域生活基盤施設) → まちなか散策マップ作成(提案事業:地域創造支援事業) → まちなか散策路整備(基幹事業:道路)
○NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの重要な観光資源、貴重な財産として、城跡や歴史民俗資料館、楽山苑等及びその周辺の整備を図る。	→ 楽山苑景観整備(提案事業:地域創造支援事業) → 与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業) → 本与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業) → 兼続お船ミュージアム展示・PR(関連事業)

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	865	交付限度額	347.3	国費率	0.402

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路	地方道	自転車歩行者（優先）道路	越後交通鉄道廃線敷（市道与板308号線）	長岡市	直	L=約1,560m	H19	H23	H19	H23	513	513	513		513
道路	地方道	まちなか散策路整備（3ルート）	市道与板59・68・58・172号線 市道与板64・68・65号線 市道与板70・143号線	長岡市	直	L=約640m	H19	H23	H19	H23	131	131	131		131
公園															0
河川															0
下水道															0
駐車場有効利用システム															0
地域生活基盤施設	緑地広場整備		越後交通鉄道廃線敷	長岡市	直	整備 2箇所 A＝約250㎡	H22	H23	H22	H23	29	29	29		29
地域生活基盤施設	まちなか駐車場整備		まちなか散策路市道与板68号線隣接地	長岡市	直	A=約550㎡	H20	H20	H20	H20	32	32	32		8
地域生活基盤施設	観光施設案内サイン整備		与板地域一円	長岡市	直	N=約35箇所	H19	H20	H19	H20	17	17	17		17
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽整備		越後交通鉄道廃線敷内	長岡市	直	V=60㎥級	H19	H20	H19	H20	14	14	14		14
地域生活基盤施設	防火水槽整備		堤下地内	長岡市	直	V=40㎥級	H20	H22	H20	H22	13	13	13		13
高質空間形成施設	デザイン照明施設等整備		越後交通鉄道廃線敷	長岡市	直	L=約1,560m	H20	H23	H20	H23	17	17	17		17
既存建造物活用事業															0
都市再生交通拠点整備事業															0
土地区画整理事業															0
市街地再開発事業															0
住宅街区整備事業															0
地区再開発事業															0
人にやさしいまちづくり事業															0
優良建築物等整備事業															0
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														0
住宅市街地総合整備事業	沿道等整備型														0
住宅市街地総合整備事業	密集住宅市街地整備型														0
住宅市街地総合整備事業	耐震改修促進型														0
街なみ環境整備事業															0
住宅地区改良事業等															0
都心共同住宅供給事業															0
公営住宅等整備															0
都市再生住宅等整備															0
防災街区整備事業															0
合計											766	766	766	0	742 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	まちなか散策マップ作成	与板地域一円	長岡市	直	ー	H23	H23	H23	H23	3	3	3		3
地域創造支援事業	楽山苑景観整備	楽山苑周辺	長岡市	直	整備 3箇所	H19	H21	H19	H21	18	18	18		18
地域創造支援事業	与板城跡景観整備	与板城跡周辺	長岡市	直	整備 2箇所	H19	H20	H19	H20	61	61	61		61
地域創造支援事業	本与板城跡景観整備	本与板城跡周辺	長岡市	直	整備 1箇所	H19	H20	H19	H20	11	11	11		11
事業活用調査	まちづくり協議会運営事業	与板地域一円	長岡市	直	調査	H20	H22	H20	H22	14	14	14		14
事業活用調査	まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業	与板地域一円	長岡市	直	調査	H23	H23	H23	H23	3	3	3		3
まちづくり活動推進事業	まちづくり活動拠点整備実験事業	与板市街地内	長岡市	直	延床A=約160㎡	H20	H22	H20	H22	13	13	13		13
まちづくり活動推進事業														0
合計										123	123	123	0	123 …B
													合計(A+B)	865

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
与板河川緑地再生整備事業	与板河川緑地	長岡市	国土交通省	A=約1ha		○			H21	H22	50
洪水・土砂災害ハザードマップ作成	与板地域一円	長岡市	国土交通省	全戸配布		○			H20	H22	1
兼続お船ミュージアム展示・PR	与板歴史民俗資料館	長岡市	－	全館	○				H19	H23	52
まちの駅よいた	まちなか駐車場・楽山苑周辺	長岡市	－	延床A=約40㎡	○				H23	未定	5
合計											108